

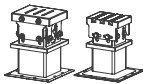
コンクリート基礎の問題点を解決

工期末の救世主

とにかく  
**工期短縮**

ベルベース  
(金属拡張アンカー)

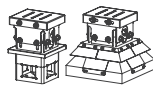
設置 → **1日で  
施工完了**



ベルベースA/外アンカー、  
ベルベースC2

ベルベース  
(接着系アンカー)

設置 → **2日で  
施工完了**



ベルベースA/内アンカー、  
ベルベースF

コンクリート  
基礎

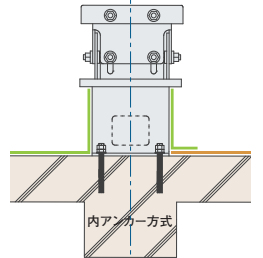
アンカー打設 > 配筋 > 型枠設置 > コンクリート打設 > コンクリート養生 > 型枠解体・搬出

2週間  
程度  
必要

※ベルベースとコンクリート基礎との工程表比較(例): 20個程度

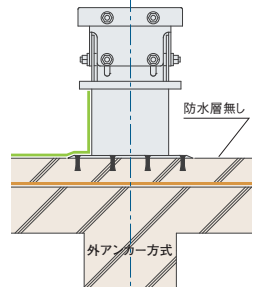
◎設置例

— 既存防水層 — 新設防水層  
新築 (防水層新設) ← → 既築 (防水層補修)



内アンカー方式は、重量の大きい設置機器をスラブへ堅固に固定が可能

既築 (防水層新設) ← → 新築・既築 (防水層非干渉)



外アンカー方式は、既存防水層がある場合、防水層を貫通せずに基礎の取付けが可能

## 乾式工法

乾式工法(ベルベース) × 湿式工法(コンクリート基礎) 精度の差は歴然

ベルベース(乾式工法)はコンクリート基礎(湿式工法)に対し、圧倒的に精度が優れます。

ベルベース(乾式工法)



工場生産品を設置



①下地へアンカーボルトを設置  
②操作窓から手を入れ、ベルベースを固定



③mm単位で高さ・水平調整後、完了

コンクリート基礎(湿式工法)



小規模工事ではコンクリートの揚重が大変(既存建物での施工例)




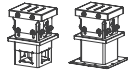

小規模工事の小型構造物では機械を用いた締め固めが面倒



手直しが発生しやすい。更に頭部へアンカーボルト穴の穿孔が必要

# 軽量化

$\frac{1}{10}$ の重さ (ベルベース/コンクリート基礎)

ベルベースC2	26~30kg		<b>コンクリート基礎 小</b> 重さ：約200kg 本体部：300×300 頭部：480×480 高さ：600
ベルベースA	39~48kg		<b>コンクリート基礎 大</b> 重さ：約500kg 本体部：500×500 頭部：900×900 高さ：600
ベルベースF	52~55kg		
コンクリート基礎	200~500kg		

# 防水を熟知



- 確実な雨仕舞
- 次回の防水改修にも配慮

# 豊富な実績



## 冬季施工に 威力を発揮

コンクリート工事に制限がある、  
積雪寒冷地での冬季施工に  
威力を発揮します。

 **株式会社ベルテック** [ 建材事業部 ]

- 本社  
〒557-0054 大阪市西成区千本中2-12-20  
TEL. 06-6651-9200 FAX. 06-6651-9202
- 東京営業所  
〒111-0042 東京都台東区寿3-19-5 JSビル6階  
TEL. 03-5830-0231 FAX. 03-5830-0232
- 名古屋営業所  
〒465-0051 名古屋市名東区社が丘2-1118  
TEL. 052-709-5505 FAX. 052-709-5506
- 福岡営業所  
〒814-0031 福岡県福岡市早良区南庄1-2-21 メゾンド・わさび102号室  
TEL. 092-400-0668 FAX. 092-400-0669



←QRコードで  
ウェブサイトへアクセス

[www.vertec.biz/](http://www.vertec.biz/)